

伊那市 官民共創の新しいまちづくり協議会

会議名	第 19 回 まちなかエリア高度化 WG			
開催日	2025 年 12 月 18 日(木)			
開催時間	開会	18：00	閉会	19：30
開催場所	市役所 1 階 103 会議室横 Web Meeting Room オンライン併用			
出席者				
協議会・WG メンバー	会場：黒河内貴氏、志知貴文氏、土田智氏、瀧内貴氏 OL：政金裕太氏			
事務局・職員	会場：企画部企画政策課 有賀慎課長補佐、村田和也新産業技術推進係長			
関係者	—			
欠席者	鈴木孝之氏、細谷啓太氏、企画部企画政策課 織井邦明課長			
議事	1、次回「対話・つながり・実現の場」講師について			

議事項目	概要	次のステップ
1、次回「対話・つながり・実現の場」講師について		
次回「対話・つながり・実現の場」講師について	<p><WG メンバー 3 人が講師候補の方を挙げていただいた前提条件について></p> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の「対話・つながり・実現の場」の中で、「次世代のまちづくりへの関わりって?」の「問い合わせ」を考えいくと、「歩きたくなるまちってどんなまち?」と「情報が集まる場所・方法は?」の 2 つの「問い合わせ」にもつながるという話になったと思う。 ・その結果からすると、若者向けの取組を進めていくという話になるよう思うが、3 人で話し合った結果、「若者だけでなくもっと『世代』『性別』を超えていろいろな人が混ざりあって一緒にまちづくりを考えたい」というメッセージが必要ではないかという話になり、それが実現できている事例に関わっていらっしゃる講師の方を候補として挙げた。 <p><WG メンバー 3 人から、挙げていただいた講師の方の紹介 ※最終的にお願いすることになったお二人の講師の方のみ掲載></p> <p>-(有)ハートビートプラン代表取締役 園田聰さん－</p> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松本駅周辺から松本城周辺までの松本市「中核エリア」の市街地再設計に関わっていらっしゃる。 	

	<ul style="list-style-type: none">・地域の開発、何かを変えていくという状況の中で、プレイスメイキングの話をお聴きするには適任である。・東京、大阪、名古屋の方のお話をお聴きするのもよいが、地方都市のスケール感を承知されている講師の方からのお話をお聴きするのがよい。 <p>- 東京大学大学院 新雄太特任助教 (UDC 信州アドバイザー) -</p> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・ UDC 信州関係者の方にお話いただけないかと考えた。・ 信州大学にもお勤めだったこともあり長野県にもゆかりがある。 <p><次回「対話・つながり・実現の場」の構成></p> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・ 研究者と実践者のお二人に来ていただいて両方の話を聞くのがよいと思っている。・ まちなかで実践をしていくときに、それが社会的にどういう意味があるのかを考えるという行き来ができる。そういう視点があるとよりよいアクションの選択ができると思う。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・ 少し俯瞰した客観的な視点が欲しい。まちづくりの取組に金融機関が関わる仕組みができ、スケールしていく過程など、研究者の方であるとわかりやすくお話していただけそうな感じがする。そこにどう実践が融合して持続しているかは、今後の伊那市のまちづくりの重要なポイントである。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・ この WG では、まちづくりのプレイヤーが増えるとよいと考えている。・ 民間のボランティアベースのプレイヤーが増えることと、プロのまちづくり会社が起こること、どちらが狙いなのかでお話いただきたい内容が全然違ってくる。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・ ここ 10 年間くらい、いなまちではボランティア的な取組でまちづくりに取り組んできた民間の人はいるけれど結局スケールしていない。その課題感を出発点に、どう多世代につないでいくのかという話をするのもよいと思う。 <p>○WG メンバー</p>
--	--

	<ul style="list-style-type: none">・ 次回の「対話・つながり・実現の場」で行政職員からの発信が必要なのではないかと思う。・ 通り一辺倒のしっかり決裁された内容でなく、どんなまちをつくっていきたいという話が行政職員からあったほうがよい。・ 来年度から市でリアルな拠点を作っていくという事業が進んでいる。それは市民がこのタイミングで聞いておかなければならぬ話であると思う。・ 個々の施策についてどこまでオープンにできるかという課題はあるが、地域プランディングのように市としてこういう方向性を持っているという話はしたほうがよいのではないか。 <p><実践者としてどなたに講師をお願いするか></p> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・ 研究者と実践者の両方のお話をお聞きすることに賛成である。・ 園田聰さんは、実践者と研究者両方の視点でお話しただけるかもしれない。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・ 園田聰さんは、いろいろな場所でウォーカブルの取組をされているので具体的なお話もしていただけるのではないか。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・ WG メンバーがファシリテーターとして研究者目線で園田聰さんに質問していくという構成もよいのではないか。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・ (有)ハートビートプランさんの取組には前々から興味があるので、そういうことになれば喜んで引き受けたい。 <p><研究者としてどなたに講師をお願いするか></p> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・ こういった企画で初めて会った講師お二人が仲良くなって一緒に仕事を始めるということもある。初めてしゃべったけれどものすごく面白いというようなシナジーがあると参加者は面白い。すでにつながりのあるお二人だと内容が予定調和になる可能性もある。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・ 現状伊那市でまちづくり会社がないとすると、ソフト寄りのまちづくり会社が官民共創の新しいまちづくり協議会発で起きても困る人はいない。	
--	--	--

	<ul style="list-style-type: none">・ビジネス、ソーシャルビジネスの話、ボランタリーの限界、開発の話などをお聞きするには新雄太さんが適任ではないか。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・「対話・つながり・実現の場」では、若い世代とまちの接点という話の流れで講師の方の候補が挙げられたが、「対話・つながり・実現の場」には地元の元区長なども参加され、もっと上の世代の方々等の居場所やまちとの関わりの重要性についても対話がされた。そういった意味でも、多世代や移住の研究をされている新雄太さんは適任ではないか。 <p>◆(有)ハートビートプラン代表取締役 園田聰さん 東京大学大学院 新雄太特任助教 お二人に講師を依頼する。</p>	
--	---	--

■今後のスケジュール

<次回 WG>

- ・2026年1月8日(木)16:00～ 市役所5階502会議室（オンライン併用）

<次回「対話・つながり・実現の場」>

- ・2026年2月28日(土) または 3月1日(日)午後 会場未定